

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



-
- 電源を切る
 - 電源コードを抜く
 - お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



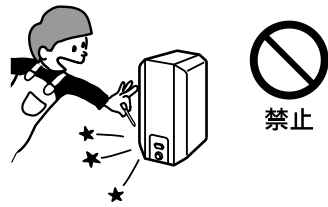
行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

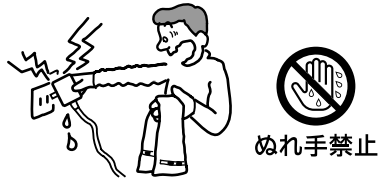
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



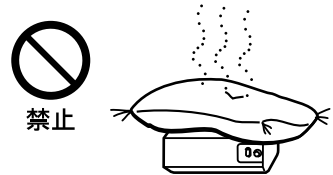
ぬれた手で電源コードをさわらない

感電の原因となることがあります。



本体や電源コードを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

SONY

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-A202

© 2003 Sony Corporation Printed in Malaysia

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

家庭用電源コンセント(AC 100V)につないでお使いください。

電源コードについて：

電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：

本機のPOWERスイッチを押してOFFにしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意：

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。
- 破損を防ぐため、本機をパーソナルコンピュータやオーディオ機器と接続する前にそれぞれの電源を切ってください。

お手入れの仕方：

- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

設置について：

- 次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。

主な仕様

スピーカー部

型式	フルレンジバスレフ型 防磁型 (JEITA*)
使用スピーカー	直径 57 mm
インピーダンス	4 Ω
定格入力	2 W

アンプ部

実効出力	2 W+2 W (全高調波歪 10%、1 kHz、4 Ω) (JEITA*)
低音増強	MEGA BASS回路
入力	ステレオミニプラグ付入力 コード(約2 m) × 1 (INPUT 1) ステレオミニジャック × 1 (INPUT 2)

入力インピーダンス
4.7 kΩ (1 kHz)

電源部・その他

電源	AC100V (50/60 Hz)
消費電力	9.0 W
コードの長さ	約2 m
最大外形寸法	約101 × 191 × 125 mm (幅/高さ/奥行き)

質量

左スピーカー約1,080 g

右スピーカー約395 g

付属品

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

ソニーご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリ

プラグアダプターPC-234S (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック)、PC-236MS (ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック)、接続コードRK-G136 (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5m) RK-G138 (ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニジャック)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

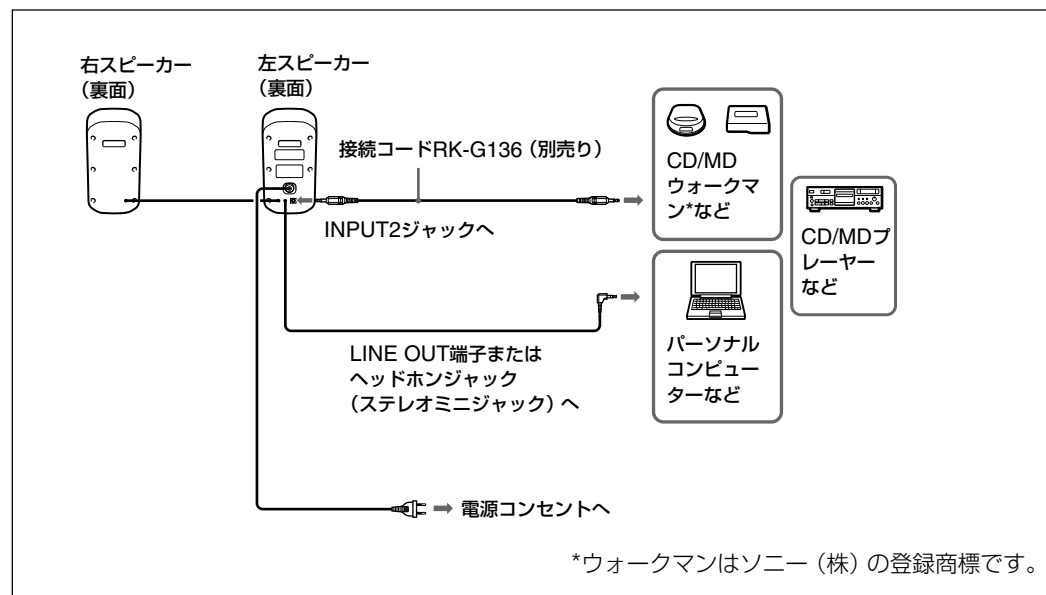
● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル……………0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX……………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00 お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

接続

1 電源プラグを家庭用電源コンセントにつなぐ

長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



2 左スピーカーを、お聞きになる機器につなぐ

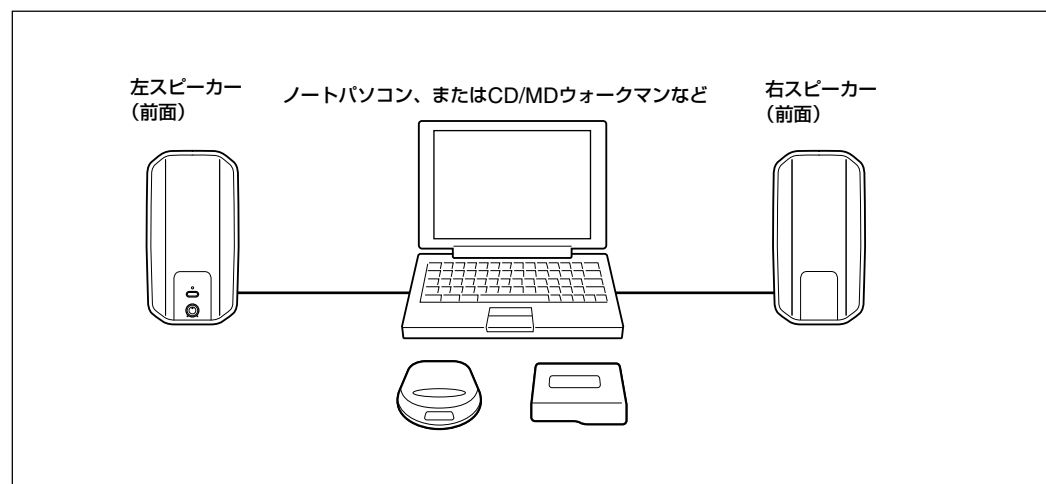
ラジオなどのモノラルジャックにつないだときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

ご注意

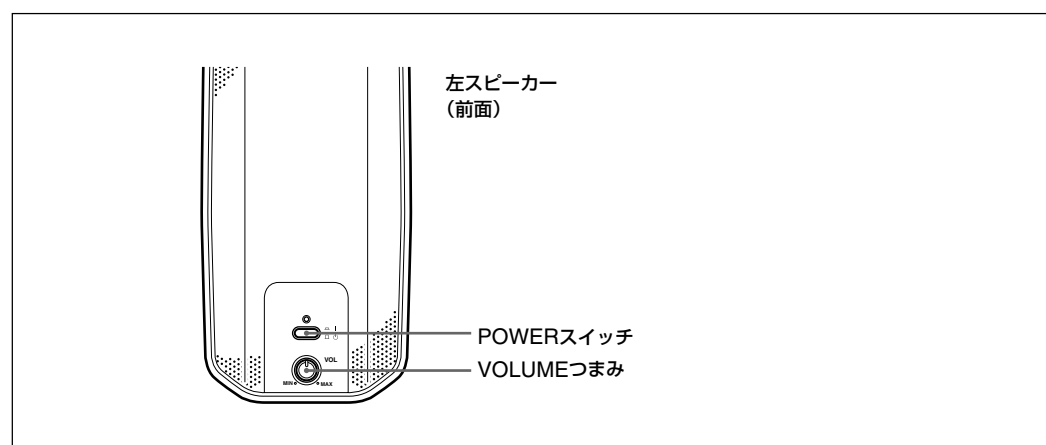
INPUT1とINPUT2の入力切換えは、接続した機器のON、OFFで行なってください。

3 スピーカーを配置する



使いかた

VOLUMEつまみでスピーカーの音量を最小にしてください。スピーカーをヘッドホン出力に接続する場合は、あらかじめ接続した機器の音量を下げておきます。



1 左スピーカーのPOWERスイッチを押してON(⏻)にする

電源ランプが点灯します。

2 再生する

接続した機器を再生し、スピーカーの音量を調節します。ヘッドホン出力に接続する場合は、接続した機器の音量も調節します。聞き終わったら、POWERスイッチを押してOFF(⏻)にしてください。電源ランプが消えます。

ご注意

ウォークマンなどのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
音が小さい、または音が出ない	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEつまみが最小(MIN)に絞られている。	VOLUMEつまみで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	